



奈良県立医科大学

平成26年11月19日

日本時間生物学会学術奨励賞の受賞について

本学地域健康医学講座の 大林賢史 助教が平成26年11月8日～9日に福岡県で開催された「第12回日本時間生物学会学術大会」で学術奨励賞（臨床・社会部門）を受賞しました。日本時間生物学会は、あらゆる生物（植物やバクテリアからヒトまで）のリズム現象を扱う学際的な学術団体であり、多くの世界的に著名な研究者が所属する学会です。日本時間生物学会学術奨励賞は、時間生物学領域で顕著な業績をあげ、今後の活躍が期待される若手研究者（臨床・社会部門は41歳以下）を表彰するものです。今回の受賞は同講座で平成22年から実施している前向きコホート研究の横断解析で、日常生活の光曝露が多種多様な健康指標と関連していることを明らかにしたことが評価されたものです。大林助教の受賞した対象研究題目は下記のとおりです。



【受賞対象研究題目】

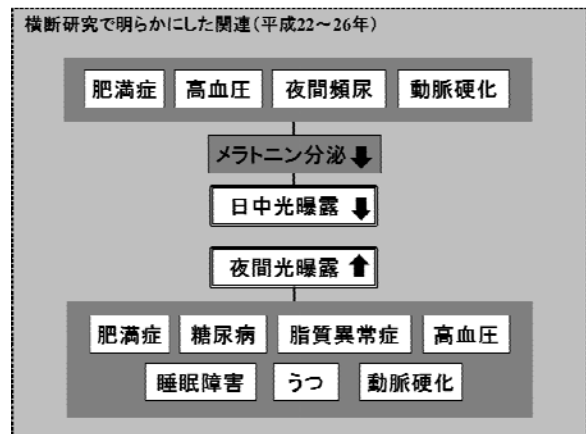
「日常生活の光曝露と健康に関する時間疫学研究」

大林賢史

奈良県立医科大学 地域健康医学講座

【内容】

生体リズムに最も強く影響を与える環境因子は「光」であることが分かっています。現代人は日中に屋内生活が多いため日中光曝露が少なく、夜間は人工照明を使用するため夜間光曝露が多くなる傾向があります。このような人類の進化過程と異なる光の浴び方が多くの疾病の原因になっているのではないかという仮説を検証するために、私どもは平成22年から大規模疫学研究（平城京コホートスタディ）を開始しました。全対象者は1127名であり、その横断研究で日中光曝露の減少がサーカディアンリズムの指標であるメラトニン分泌量の減少と関連すること¹、メラトニン分泌量の減少が糖尿病、高血圧、夜間頻尿、動脈硬化と関連すること²⁻⁵、夜間光曝露の増加が肥満症・糖尿病・脂質異常症・高血圧・睡眠障害・うつ症状・動脈硬化と関連することをそれぞれ報告しました（右図）⁶⁻¹⁰。



1. Obayashi K et al. J Clin Endocrinol Metab. 2012; 97:4166–4173. **2. Obayashi K et al.** Chronobiol. Int. 2014; 31:394–400. **3. Obayashi K et al.** Hypertens Res. 2013; 36:736–740. **4. Obayashi et al.** J Urol. 2014; 191:1816-1821. **5. Obayashi K et al.** J Clin Endocrinol Metab. 2014; 99:3233–3239. **6. Obayashi K et al.** J Clin Endocrinol Metab. 2013; 98:337–344. **7. Obayashi K et al.** Chronobiol. Int. 2014; 31:779–786. **8. Obayashi K et al.** Chronobiol. Int. 2014; 31:976–982. **9. Obayashi K et al.** J Affect Disord. 2013; 151:331–336. **10. Obayashi K et al.** Chronobiol. Int. 2014 (in press). doi:10.3109/07420528.2014.974809.

【受賞者のコメント】

これまでに日本時間生物学会学術奨励賞を受賞した研究者の中には、時間生物学の分野で世界をリードする研究者が多くいることから、同分野で重要な賞であることが分かります。これまでの私どもの研究成果が高く評価されたことは誠に光栄なことであり、共同研究者の佐伯圭吾先生やご指導いただいた車谷典男先生、また多くの関係者の方々に深く感謝申し上げます。私どもの研究はまだ初期段階にあり、今後さらに精度の高い疫学的手法を用いて、光曝露が健康に及ぼす影響を明らかにしていきたいと考えています。

地域健康医学講座 助教 大林賢史

【所属長のコメント】

国際的にも極めてユニークな疫学研究の成果が高く評価されたことを大変うれしく思います。これからも一層心血を注いで、社会に貢献する研究に邁進してくれることを期待します。

地域健康医学講座 教授 車谷典男

受賞者の略歴

大林 賢史 Kenji Obayashi, M.D., Ph.D.

奈良県立医科大学 地域健康医学講座 助教

2002年 東京医科大学 医学部医学科卒業

2002年 東京女子医科大学 臨床研修医

2004年 東京女子医科大学 循環器内科

2005年 埼玉県立循環器呼吸器病センター 循環器内科

2006年 東京女子医科大学 循環器内科

2010年 奈良県立医科大学 住居医学講座助教

2012年 奈良県立医科大学 地域健康医学講座特任助教

2013年 奈良県立医科大学 地域健康医学講座特任講師

2014年 奈良県立医科大学 地域健康医学講座助教

